

道路行政について

東 孝助 議員



東 レターバス等の停留所を西合志庁舎側直線コースに移設できないか。企画課長 見通しがよく安全性を考え移設を考えており、現在、手続きを進めている。

東 道路幅が狭く、かつ交通量が多い後川辺・江良線の道路整備について。

建設課長 後川辺区より道路新設の要望書を受理したばかりであり、今後地元と協議し整備効果等を検討して判断したいと考えている。

東 住民からは、通行中に危険を感じていると相談を受けている。できるだけ早急な整備を求めたい。

建設課長 平成14年に整備した路線で、一部未買収があり、23年には市長と地権者で協議したが合意できず、交渉継続が困難であり、交渉は控えている状況です。路線南側には、歩道を設け通学路としての機能は果たしている。

東 現道は、朝夕の時間帯に通勤車両で混み合い非常に危険だ。今後用地交渉に尽力して欲しい。

上群・中林線について

東 上群・中林線の用地買収状況と完成年度の進捗状況は。

建設課長 用地買収の状況は、平成25年度から着手し、昨年12月末時点で面積で約50%の買収を終え、今年度末までには約60%を見込んでいます。27年度に着工し、早期完成を目指す方針だ。

東 1日も早い竣工を要望したい。



上群・中林線工事予定地

小中学校の分離・新設を急げ！

神田 公司 議員



神田 議会初日、市長より「合併特例債」の発行期限が平成32年度までと迫る中、「学校の施設及び学校給食施設の建設」に向けた取り組みを進める旨の表明があったが、具体的な検討はいつ始めるのか。

市長 27年度には議会や地域の皆様と丁寧につかりと協議したい。

神田 熊本県の「くまもと子ども子育てプラン」では量（幼稚園・保育園）の見込みは、27年度合志市は菊陽町とほぼ並び、前年度比24.1%増。さらに量の見込みのピークは平成31年度、と書かれている。これを基に考えると小学校の児童のピークは平成34年度、中学校の生徒のピークは平成37年度。教育委員会は今後の児童・生徒数の推移をどのように見ているのか。

学校教育課長 平成32年度以降も児童生徒数の増加が見受けられる。分離・新設の必要性についての対策を考えていかなければならない。

神田 もはや学校での増改築ができない状況がある。教育委員会として

学校の分離・新設を急ぐべきでは。教育長 データとしては鬼気迫るものとして受け止めているが、市長の表明にもあったように、綿密な財政シミュレーションを基に時期、規模等も行政や議会、市民とも協議しながら早急に検討したい。

神田 教育委員会としてこのデータを基に具体的に来年度から、児童・生徒のピークを設定し、市長部局と検討するのが。

教育部長 教育委員会として31年度までの増改築を進めているが、27年度以降は人口増の状況を確に把握しながら、ピークが37年度まで上がるのであれば分離・新設も考えていかなければならない。



新たに増設された教室（東小）

介護保険料の値上げは中止を！

濱元 幸一 議員



濱元 新年度から介護保険料の月額基準額を現在の5,200円から5,400円へと200円、年間3,600円の値上げとなる。この介護保険料は、高齢者の生活実態からみても高すぎる。2003年当時の旧西合志町・合志町の介護保険料はそれぞれ3,700円、3,600円だったため、今回の改正で約1.5倍となる。どこかでこの値上げに歯止めをかけなければならぬ。市は現在の介護保険料の負担は適正なものだと考えているか。

高齢者支援課長 被保険者の数も給付費も増えている。最低限の引き上げだと考えている。ご理解をいただきたい。

濱元 値上げを認めるわけにはいかない。高齢者の負担能力は限界である。保険料の値上げを中止し、一般会計からの法定外の繰り入れを検討するべきだと考える。いまからでも遅くはない。一般会計からの繰り入れで保険料の引き上げを中止することを求める。実際に引き上げ中止に



はどれだけの予算が必要なのか。高齢者支援課長 3年間で1億3,000万円が必要になる。

濱元 介護保険料の据え置きに必要な予算は約4,300万円。大きな額だが、合志市には予算はある。合志市の年間予算は189億円。基金も25年度、57億円。財政調整基金は33億円。市民の暮らしを守るために、いまこそこうした基金も活用して、暮らしを応援すべきではないか。

市長 市議会に財政特別委員会をつくっていただき、全般的な議論をさせていただいて、その部分の個別の判断を議会とともにさせていただきたい。

地方創生について

松井 美津子 議員



松井 国の平成26年度補正予算「地域消費喚起・生活支援型」交付金を活用した「プレミアム付商品券」の発行について。

商工振興課長 交付金を最大限に活用して「地域経済を活性化するためプレミアム付商品券の販売」を行う。本市では額面1,000円13枚つづりの商品券を1万円で購入できる、プレミアム額3,000円の商品券を発行する予定である。また、子育て世代の経済的負担軽減を目的に子育て支援のためのプレミアム付商品券の販売も行う。未就学児のいる世帯には、同じ商品券を7,000円で購入できるプレミアム額6,000円の商品券を発行する予定である。市内の商店等への利用を促し、地元消費の拡大、地域経済の活性化を図りたいと考える。

松井 地域女性活躍推進交付金で子育てや、就労に関する情報を提供するワンストップ相談窓口について。健康福祉部次長 「子育て世代包括支援センター」の件については、子

どもや女性を総合的に支援することを目的とした「女性・子ども支援室」という形で交付金の申請を行う。松井 認知症対策「初期集中支援チーム」の設置について。

高齢者支援課長 27年度から準備を進め、整い次第チームの設置を考慮する。

松井 人権フェスティバルに「アール・ブリュット」の展示について。人権啓発教育課長 市にある特別支援学校、障がい者支援施設にお願いして、人権啓発の視点から進めたい。

松井 まごころ溢れる身障者用駐車場について。財政課長 専用駐車場への車イス以外のマーク設置について進めたい。

松井 ヴィーブル文化会館のトイレを和式から洋式へ。生涯学習課長 利用される方の必要に応じて改善していきたい。

